

公益社団法人日本青年会議所 2026 年度 基本方針

島根ブロック協議会 会長 三島 裕貴

<p>ブロック協議会の 幸せな社会</p>	<p>真の心で果敢に挑む 愛あふれる幸せな島根の創造</p> <p>島根には、日本海に面した海岸線や中国山地の山々といった豊かな自然、伝統的で歴史ある文化遺産、そして、そこに住む人々の暮らしがあります。しかし、人口減少や過疎化による地域活力の低下、それによる多くの課題が見受けられます。それに伴い島根ブロック協議会でも、メンバーの減少により地域の未来を担うリーダーが減少し、安全安心な地域をつくるのが難しくなっています。私たちには、先人より受け継いだ魅力ある地域をさらにより良い地域とし、次代を担う子どもたちへ残していく責任があります。まずは、地域社会に対し、より大きな影響を与え、人々の意識を変革するために、一人でも多くの同志を増やすことが重要です。私たちの運動がより良い人財を育て、子どもたちの明るい未来をつくることを伝え、日本青年会議所や中国地区協議会と連携をとりながら、各 LOM がメンバーを拡大できるよう支援します。そして、ブロックアカデミーや地区 Leader's Academy を通じてリーダーとしての資質を向上し、誠実で純粋な真の心でどんな苦難にも果敢に挑戦するリーダーを輩出します。理念やビジョンをしっかりと共有し、共感を生み出すことで組織を動かします。そして、各地の社会課題に向けて愛を持って事業を展開し、解決へと導くことで誰もが幸せだと感じられる、愛あふれる幸せな島根を創造します。</p>
<p>ブロック協議会の 役割</p>	<p>島根ブロック協議会では、メンバーの減少により地域の未来を担うリーダーが減少し、また青年経済人のネットワークの脆弱化にも瀕しています。島根ブロック協議会として、各 LOM との綿密な連絡調整を図り、日本青年会議所や中国地区協議会と連携し、リーダーとしての資質を向上する機会を創出します。また、愛を持って人や地域に奉仕するために、誠実で純粋な真の心を胸に果敢に挑戦できるリーダーを一人でも多く輩出し、ともに地域の社会課題を解決するために LOM を支援し、運動の効果を最大化します。</p>
<p>ブロック連携事業 (政策手法)</p>	<p>1.FCP(Family Continuity Plan:家族継続計画)の導入に向けた運動の推進</p> <p>日本は世界でも有数の自然災害多発国といわれ、地震や台風、豪雨など様々な自然災害に見舞われる可能性があります。私たちの青年会議所活動の原点は家庭であり、いつ起こるか分からない災害に向けて日常から備えをすることが重要です。FCP を策定しメンバーの家族一人ひとりの防災意識を高めることで、災害時において迅速的確に行動できるよう準備し、災害に強い家庭をつくる必要があります。ブロックナイトの一部にてメンバーに説明を行い、災害時の備蓄や避難場所の確認など家庭内での防災対話を促します。フォーマットを配信し、メンバー各々の家庭独自の具体的な行動計画を作成し、担当委員が確認報告することで、災害時の緊迫した状況下でも迅速的確に行動できるよう支援します。</p> <p>2.日常から始めるカーボンニュートラル推進事業</p> <p>近年の温室効果ガスの影響により、猛暑や集中豪雨などの異常気象が頻繁に発生し、気候変動による気温上昇も懸念されています。次代を担う子どもたちに安全安心で豊かな地域を残すために、カーボンニュートラルについての知見を得ることが必要です。カーボンニュートラルについての知見を得ることや周知することで、二酸化炭素削減に向けて日常から意識を高めることが重要です。私たちが家庭から始められる具体的な二酸化炭素削減について学び、カーボンニュートラルを推進できるよう支援します。</p> <p>3.ブロックアカデミーにおける JAYCEE 育成カリキュラムの運用</p> <p>青年会議所の理念やビジョン、価値観がメンバーに統一されていない環境では、目的達成へ向けて組織を円滑に動かすことが難しい状況に陥ります。また、在籍年数が短いメンバーが理事や委員長のような重責を担う場面が増え、新入会員の育成まで手が回らない状況があります。組織の運動や運営をリードし、課題に立ち向かい果敢に挑戦するリーダーを育成することが必要です。ブロックアカデミー事業を開催し、青年会議所の理念やビジョン、価値観を共有し、リーダーとしての資質を向上させ、目的達成に向けて組織を動かし、各 LOM の発展に貢献できる果敢に挑戦するリーダーの育成を支援します。</p>

ブロック協議会 独自の事業	1.第 52 回島根ブロック大会の実施
	【背景】 愛あふれる幸せな島根の創造のために、島根ブロック協議会は今後もより良い発展をし、成長していくことが重要です。そのために関係各所と理念の共有をし、改めて理解を深め合い、より連携を深めていく必要があります。
	【目的】 愛あふれる幸せな島根の創造のために、メンバーの意識の統一につなげ、結束の機会とし、より強固な組織とすることを目的とします。
	【手法】 第 52 回島根ブロック大会記念式典を開催し、各 LOM メンバーが想いを一つとし、力強い運動ができるよう結束につなげます。また、記念事業として幸せな未来をつくる郷土愛醸成事業を開催し、島根の魅力ある地域資源を活かし、次世代を担う子どもたちの郷土愛醸成を促します。そして、カーボンニュートラル事業を同日に開催し、家庭から始められる具体的な温室効果ガス削減方法や、事業を通して新たな知見を得られる設営を行い、知的好奇心を刺激することでメンバーの参加を促進します。
	2.島根ブロックナイトの実施
	【背景】 愛あふれる幸せな島根の創造のためには、メンバー一人ひとりが共通の価値観を持ち、一丸となって運動を展開していくことが重要です。そのためには、日本青年会議所の基本理念及び中国地区協議会と島根ブロック協議会の基本方針を共有し、同じ方向に向かって島根ブロック協議会と各 LOM の結束を深める必要があります。
	【目的】 今後展開する事業に向けて目的や内容を把握していただき、参加への意識を高めていただくことを目的とします。
	【手法】 各 LOM メンバーが一堂に会する場を設け、日本青年会議所の基本理念の説明、中国地区協議会や島根ブロック協議会の基本方針の説明、また島根ブロック協議会の組織、各委員会の事業説明を実施し、理解を深めます。また、役職や立場が変わった同志との再会の場、または、ともに組織の目標のために切磋琢磨できる新しい仲間との出会いの場となるよう設営を行い、メンバーの参加を促進します。
	3.LOM 支援の実施
【背景】 島根県内各 LOM では、会員拡大を喫緊の課題としており、現状のままでは数年以内に消滅の可能性がある LOM も存在します。LOM の発展のためには、各 LOM とブロック間で綿密な情報共有を行い、ともに課題解決をしていく必要があります。	
【目的】 各 LOM のメンバー数増加や、諸会議及び事業への参加率向上を後押しし、LOM の運営基盤を強固にすることを目的とします。	
【手法】 各 LOM の悩みや課題に対し、日本青年会議所を活用して全国各地 LOM が抱える同様の悩みや課題の解決に取り組み成功した手法や拡大情報の共有を行い、拡大運動の活性化につなげます。また、日本青年会議所と連携し、各 LOM の課題解決につながる会議、委員会とのマッチングを行い、ノウハウを共有いただき組織運営の強化につなげます。	

	<p>4.幸せな未来をつくる郷土愛醸成事業の実施</p> <p>【背景】 島根県では、人口減少や少子高齢化、都市部への一極集中による過疎化により、地域活力の低下が懸念されています。これは、持続可能な地域をつくることを誓う私たちにとって深刻な課題です。島根の幸せな未来をつくるためには、地域の未来である子どもたちとともに、人と人、人と地域のつながりを強くし、郷土愛を醸成する必要があります。</p> <p>【目的】 子どもたちの郷土愛を醸成することで、生まれ育った地域へしっかりとした当事者意識を持ち、誇りと愛着を高めることを目的とします。</p> <p>【手法】 次代の地域を担う子どもたちが、郷土の魅力に触れ、仲間とともに、心に残る笑顔あふれる体験を通して、大人になっても郷土を誇りに思える郷土愛醸成への支援をします。また、子どもたちの好奇心を刺激する仕掛けを取り入れ、周りの大人や事業に関わる人々がワクワクするような機会を提供します。</p>
ブロックによる LOM 支援の 実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.情報共有体制を構築し、各 LOM の課題解決に向け役立つ情報を共有する 2.災害時の迅速な情報共有と連携した支援活動を展開する 3.ブロックアカデミー事業の開催により、リーダーとしての資質を向上できる機会を提供する
前年度より 引き継いだ 重点連携 LOM	LOM 名:隠岐青年会議所